



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1511 2026 年 9 月 7 日

ARIB からのお知らせ

CEATEC 2026 での ARIB の出展等について

「CEATEC 2026」が、幕張メッセで10月13日（火）から16日（金）までの4日間にわたり、Japan Mobility Show Bizweek と同時開催されます。そして、CEATEC の公式 Web サイトでは、8月27日（木）から10月30日（金）まで出展者詳細ページが公開されます。

今年の CEATEC は、「経済発展と社会課題の解決を両立する「Society 5.0」の実現を目指し、あらゆる産業・業種の人と技術・情報が集い、「共創」によって未来を描く」を開催趣旨とし、「Transformation－企業が、産業が、そして社会が変わる－」のテーマのもと、変革がもたらす新たな価値を体感いただくとのことです。

ARIB では、今年も同展示会に協力団体として参加するとともに、下記のとおり、幕張メッセ及び公式 Web サイト（出展者詳細ページ）にて、電波利用システムの実用化及びその普及を促進し、電波産業の振興・発展を図る事業の一環として、最近の事業活動を紹介します。

また、今年度の電波功績賞*を受賞された技術やシステムの紹介を行うことにより、電波の有効利用に対する関心や理解を深めていきます。

幕張メッセ（ARIB ブース）の来場者に対しては、アンケート調査を実施することにより非会員への広報に繋げるとともに、電波に関するニーズや関心等の動向の把握などを行う予定です。なお、CEATEC へ出展するコンテンツ（ARIB の概要、研究開発活動及び電波功績賞受賞テーマの紹介）については、ARIB ホームページでも公開する予定です。

さらに、ARIB では昨年に引き続き、10月14日（水）と15日（木）の2日間にわたり、同幕張メッセ国際会議場コンベンションホールにおいて、総務省およびXG モバイル推進フォーラム（XGMF）との共催により、「6G×AI が創る未来社会」をテーマに国際ワークショップを開催する予定です。このイベントは、5G の高度化・普及促進及び第6世代移動通信の実用化について、我が国が検討・提案する技術仕様が今後策定される国際標準に反映されるよう、国内外の関係者間での相互理解や連携の構築・推進することを目的としています。

記

1. 会場及び会期

- (1) 幕張メッセ（千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1）：2026 年 10 月 13 日（火）～10 月 16 日（金）
- (2) CEATEC 公式 Web サイト：2026 年 8 月 27 日（木）～10 月 30 日（金）
・出展者詳細ページ（https://www.ceatec.com/nj/exhibitor_detail_ja?id=33）

2. 出展及びワークショップ

- (1) ARIB ブースによる出展

- ・パネル形式による ARIB の概要及び研究開発活動の紹介
 - ・パネル及びデモ展示形式による第 37 回電波功績賞を受賞した技術やシステムの紹介
- (2) 国際ワークショップ「6G×AI が創る未来社会」(10 月 14 日(水)、15 日(木))

※電波功績賞：

電波の有効かつ適正な利用に特別の功績を挙げられた個人又は団体を総務大臣表彰及び ARIB 会長表彰として、毎年表彰しているもの。

ARIB の動き

日中韓情報通信標準化会議 IMT WG 第 77 回会合概要報告

1. 会合の概要

本会合は、日中韓3か国の標準化機関(SDO: Standards Development Organization)におけるITU-R、APT、3GPP等のIMT(International Mobile Telecommunications)に関する国際標準化活動について情報・意見交換を行うとともに、ITU-R SG 5 Working Party 5D(WP 5D)会合等の国際会合に向けた共同寄与文書の作成を行うことを目的としており、年3回開催されています。

日 程：2026年8月26日(水)、27日(木)

場 所：中国・青島(Web会議併用)

出席者：各国SDOのメンバーとして、CCSA(中国)から22名、TTA(韓国)から16名、ARIBから24名(事務局からは西岡理事、佐藤(拓)担当部長、金本主任研究員)が参加

2. 主要結果

- (1) 2026年4月に開催されたAWG第36回会合ならびに、前回会合以降実施されたWP 5D第52回会合、APG-27第3回会合及び3GPP会合の結果を共有し、今後の検討課題について意識合わせを行いました。
- (2) 2026年9月28日から開催予定のWP 5D第53回会合に向け、各国の準備状況についての情報共有及び意識合わせを行い、継続検討項目及び作業内容を特定しました。
- (3) IMT-2030無線インタフェース技術の提案方法、評価基準及び提案用テンプレート等を示す新報告ITU-R M.[IMT-2030.SUBMISSION]において、無線インタフェース技術の詳細を説明する記述テンプレート、要求条件への適合を示すコンプライアンステンプレート等の修正提案に関し、共同寄与文書として提出する可能性について引き続き検討することとなりました。
- (4) IMT-2030無線インタフェース開発の詳細プロセスを示すIMT-2030/02(プロセス文書)において、ステップ2(候補技術の開発)で規定する無線インタフェース技術(RIT)が満たすべき基準(試験環境数)に関し、共同寄与文書として提出する可能性について引き続き検討することとなりました。
- (5) IMT-2030/02の更新並びに新報告ITU-R M.[IMT-2030.SUBMISSION]の完成に関する回章及び、これらを外部機関へ通知するためのリエゾン文書に関し、共同寄与文書として提出する可能性について引き続き検討することとなりました。
- (6) WRC-27議題1.7に関して、引き続き日中韓での情報連携を行うこととなりました。
- (7) WRC-27議題1.13に関して、地上IMTシステムの保護に関する規制措置等について、引き続き議論を行うこととなりました。

3. 次回会合のスケジュール

2027年1月6日及び7日に日本（沖縄）において、Web会議併用で開催する予定です。

自営無線通信調査研究会第35回会合を開催

自営無線通信に係る行政機関、研究機関、メーカ及びユーザの代表者をメンバーとして、自営無線通信を取り巻く内外の技術動向、利用動向などについて調査し、その高度化について検討する「自営無線通信調査研究会」（委員長：電気通信大学教授 藤井威生氏）の第35回会合が、約30名の参加のもと8月27日（木）にWeb会議で開催されました。

今回の会合においては、自営無線通信技術の高度化として、国立研究開発法人海洋研究開発機構技術研究開発部門海洋技術研究センター主任研究員の渡邊佳孝氏より「8,000m級AUVうらしま8000からの音響通信によるソーナー画像のリアルタイム伝送に成功—その場の観測データに基づいた、潜航中の柔軟なシナリオ変更が可能に」、NTTME株式会社ワイヤレス&センシングビジネス部テクニカルディベロップメント部門テクノロジー戦略担当の小幡昭平氏より「無線区間の遅延揺らぎを低減し、映像品質を安定化する技術を遠隔ドローン操縦で実証」の演題でプレゼンテーションがあり、その後熱心な質疑応答がなされました。

本調査研究会では、今後も引き続き、自営無線通信を取り巻く政策動向や技術動向について調査研究を進めていく予定です。

ARIB内会合(9月4日～9月11日)予定

9月9日（水）：第342回業務委員会

Web会議併用

9月10日（木）：第23回電波懇談会（メーカ社長会合）

明治記念館

国際会合(9月4日～9月11日)予定

9月7日（月）～11日（金）：APT AWG-37 会合（バングラデシュ・ダッカ）

Web会議併用

9月12日（土）：ARIB-DVB Meeting@IBC2026（オランダ・アムステルダム）

総務省などからのお知らせ

電気通信事業法施行規則等の一部を改正する省令案等 （新たなユニバーサルサービス制度に係る規定の整備）に対する意見募集 【令和8年8月28日発表】

総務大臣は、情報通信行政・郵政行政審議会（会長：相田 仁 東京大学 特命教授）に対し、電気通信事業法施行規則等の一部を改正する省令案について諮問を行いました。

本件に関して、令和8年8月29日（土）から10月2日（金）までの間、意見募集を実施しています。

詳細については【[令和8年8月28日の総務省報道資料](#)】をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp